

謹賀新年

平成三十一年元旦



町民の皆様におかれましては、良き新年をお迎えのこととおよろこび申し上げます。

昨年7月の西日本豪雨では、近年稀に見る大災害となり、各地で被害が相次ぎました。本町でも家屋、田畑、河川など、多くの地域が被災しましたが、幸いな事に人的被害はありませんでした。これは消防団員による土のう作りや安否確認、有志によるボランティア活動等ご尽力いただいたほか、災害応急対応や復旧については地元建設業をはじめ、多くの関係者の皆様に迅速かつ献身的な対応をいただきました。心からお礼申し上げます。また、先人たちが永々と築き、守ってきた林業の長い歴史が評価され「智頭の林業景観」が重要文化的景観に選定されました。今後、どのように林業や景観などを活用、継承していくか考えていかなければなりません。

そして、本年は一昨年前から町民の皆様の意見をたくさんいただきながら計画を進めてきた新図書館の建設が始まります。図書館が本の貸出だけでなく、子どもからお年寄りまでが集い、学びの場、憩いの場として活用いただけることを期待しております。

町民の皆様にご意見をいただいているこの図書館建設では、本町が目指す「一人ひとりの人生に寄り添えるまち」に近づいていると実感しております。

これからも町民の皆様と共に手をたずさえ、ますます魅力あふれる町になるよう精一杯取り組んで参りますので、より一層のご協力をいただきますようお願いいたします。

町民の皆様にとって幸多き年となりますよう心からお祈りし、新年のご挨拶とさせていただきます。

智頭町長 寺谷 誠一郎

第11回百人委員会企画提案会

今年度も百人委員会企画提案会が行われ、各部会で練った14の企画案が提案されました。

中学生は新しく出来る図書館を多くの人に周知する取組みを考えました。中学生がデザインした杉のしおりを製作し、図書館のPR文が入ったメッセージカードと一緒に配布することで、智頭らしい広報活動となる内容でした。

高校生はこれまでの取り組みを継続する2つの企画案で、より良い藍染を製作するための提案やイベント内容の拡充などの提案をしました。

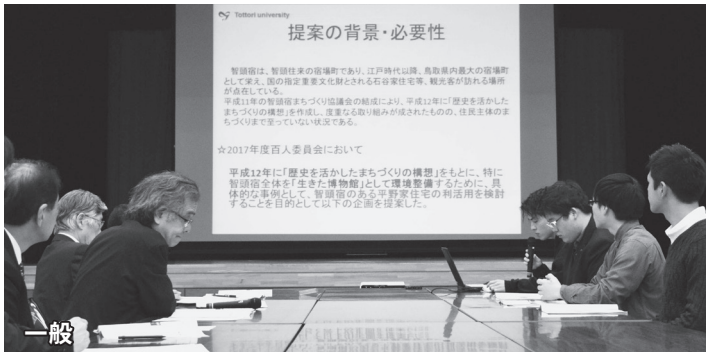
一般の部からは、主体的に健康へ目を向けるセルフケアや鳥取大学生から智頭宿の魅力マップ作りなど様々な取り組みが町執行部へ提案されました。



高校生



中学生



一般

智頭中学校	智頭農林高等学校	商工・観光部会	生活・環境部会	健康部会	林業部会	特産農業部会	教育・文化部会	獣害対策部会	鳥取大学
新	継	新	継	新	新	継	新	継	新
「智頭町にこんな図書館があったらいいな」新図書館PR&開館記念しおり製作	智頭宿魅力アッププロジェクト 格子や藍染めのれんの製作・継承 商店街活性化プロジェクト 「ちのりんショップ」の運営改善	みんなを迎える智頭の「ウリっ子」 智頭駅前広場を盛り上げるモニユメント製作	町民協力型環境まちづくり事業 智頭小へエコポスターの作成など	実感！セルフケアやらにゃく、そんなーセルフケアに関するイベントの開催	「杉のまち智頭」独自の作業道補助金制度の導入 智頭材出荷促進事業の拡充	智頭材出荷者への補助増による木の宿場の出荷促進	智頭ルバーブを食卓に！ ちづ未来IT〜こともお年寄り×プログラミング〜 ○○智頭ヒストリー	智頭枕田縄文遺跡アプリの作成 「智頭歴史トランプ」を学校教育に！	智頭宿まちかどプラットフォーム構想 智頭宿の魅力発見マップ作り

提案された企画案は今年度中に精査し、予算化されたものは来年度実施されます。魅力的な町にしていくために、皆さんの積極的な参加をよろしくお願いします。